

お取引先様各位

第 3 回災害援助物資配達完了のご報告

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、弊社が行っております被災地支援活動についてご報告させていただきます。

第 1 回目 3 月 15 日 宮城県多賀城市、第 2 回目 3 月 24 日宮城県女川市、25 日岩手県陸前高田市に続き 3 回目となる 4 月 22 日、無事災害援助物資配達が完了いたしました。

皆様のご協力で集まりました支援物資と、以前報告いたしました海外取引先様のご協力のもとアメリカより調達いたしました食品・衣料・日用品等をあわせて、3ヶ所の自治体それぞれに 10 トン車満載の物資を届けることが出来ました。

ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

敬具

記

【物資配達先】

- ・ 岩手県大船渡市 大船渡小学校
- ・ 岩手県宮古市 新里トレーニングセンター 体育館
- ・ 茨城県北茨木市 市内倉庫

各所配達模様、現地状況をご報告いたします。

【岩手県大船渡市】 配達者：石井秀樹、瀧本佳史

4 月 22 日、磐越道・東北道を通るルートにて岩手県大船渡市へ向かいました。

到着手前 1Km～2Km のあたりは被災地という感じは無く、どのくらい被災しているのかがまったく分かりませんでした。被災地に到着し、正直驚き、あまりの瓦礫の山に言葉を失いました。

大船渡は港の両サイドがすぐに山になっており津波に巻き込まれた場所は海から 400m～500m くらいの場所だったのですが、今回物資を届けた大船渡小学校は海拔約 20m くらいで、その小学校の 1 階、腰くらいまで水没したそうです。現地では、各都道府県より市の職員が協力に来ており今回届けた先には相模原より 5 名ほど交代で来られて支援活動を行っておりました。



【岩手県宮古市】配達者：中村順一、佐々木慎太郎

4月22日 岩手県宮古市の被災地へ救援物資を届けてまいりました。

知人である宮古市議会議員の方とお会いするため、宮古市役所を訪れました。

当社のこれまでの支援活動について説明させていただき、また現地の今の状況もお聞きかせいただきました。また、今後の支援活動についても連絡をとらせていただく約束をさせていただきました。

議員の方からは「大分がれきは無くなりました」と聞いてはおりましたが、がれきがなくなった部分は道路確保の部分だけで、それ以外は手つかずの状態でした。

特に港は船とゴミの山、港町の住居は生活感の残った部分も多々あり、非常に痛感する思いでした。

19:30に満潮を迎える漁港に、夕方行ってみると既に堤防ギリギリまで水が来ておりました。

後で知りましたが4月20日は市役所周辺まで冠水し通行止めだったようです。20日は中潮で満潮時は通常潮位より+110cm潮が増したとのことでした。

これから春から夏にかけての大潮は+130~150cm潮が増すので、本当に心配です。

物資を届けた新里トレーニングセンター体育館は、被害の大きい被災地のなかでも遠隔地に位置するにもかかわらず既に物凄い量の物資が届いておりました。



【茨城県北茨城市】配達者：北山雅也、佐藤正康

4月22日 茨城県北茨城市の被災地へ救援物資を届けてまいりました。

当日、天皇陛下が現地へ来られるという事で、直接避難所への搬入は出来ませんでしたが、近くの倉庫へ搬入することができました。

北茨城市の市議会議員や市職員の方々とお話でき、たくさんのボランティアの方の協力で一緒に荷降ろしを行いました。

周辺の様子は、地震での被害は弊社CSセンター（土浦市）とさほどの差は感じませんでしたが、津波のあった海岸沿の被害は大きなものでした。沿岸の家屋などは、倒壊している所も多く、大津漁港では船があるべきところではないと思われる場所に何隻かありました。



当社支援活動にご賛同いただきましたお取引先様、またお忙しい中、お時間いただきました各自治体職員の皆様、お手伝いいただきましたボランティアの皆様には、重ねてお礼申し上げますとともに被災地の1日も早い復興を、当社スタッフ一同心よりお祈りいたしております。

今後の支援活動につきましても、随時当ホームページで報告させていただきます。

皆様、ご協力ありがとうございました。

以上